

令和の道徳考えよう 教育学会東北支部、あす仙台で学習会

子どもたちの心を耕す教育を考える学習会「令和の道徳 みんなで考えよう！」あつまれ道徳の杜へ」が14日、仙台市宮城野区の東北福祉大仙台駅東口キャンパスで開かれる。研究者や教員のほか、一般の市民も無料で参加できる。

日本道徳教育学会東北支部が主催し、東北福祉大が共催する。学会長の永田繁雄東京学芸大教授が「令和を生きる子どもとこれからの道徳教育」と題して講演し、宮城県塩釜市、盛岡市の教員がそれぞれ実践例を発表する。

パネル討論では、教員養成段階での試みをテーマに設定。子どもたちの心に響く道徳の授業を広げるため、宮城教育大で学生に実践例や学校の実態などを伝えた経験のある仙台市内の中学校長や教諭らが、当時の取り組みや現状について意見を交わす。

事務局の佐藤郷美東北福祉大准教授は「闇バイトやいじめが社会問題化する中、子どもたちの判断力をどう育てていくかが求められている。令和の道徳教育のありようを一緒に考える機会にしたい」と話す。

午後0時45分開会。連絡先は佐藤准教授 090(8612)1846。